

上島町消防だより

住宅用火災警報器 不適正な訪問販売 にご注意！

住宅用火災警報器の設置が、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年6月1日から義務化されました。

それに伴い、不適正な訪問販売等のトラブルが予想されます。次に紹介する事例を参考に、だまされないように注意しましょう！



■トラブル事例

《其の一》

「消防署の方から来ました。」と、消防職員等をいつわるケース

※消防職員や消防団員、役場職員等が住宅用火災警報器を訪問販売することは絶対にありません。

《其の二》

「住宅用火災警報器の点検に来ました。」と言って、点検後に高額な請求をするケース

※承諾を得ず点検を始めるなど、「怪しい」と感じたならその場で断りましょう。

※点検業者による点検の義務はありません。説明書を参考に、個人で容易に点検できます。

《其の三》

「設置しないと罰金」とおどし、「今だけの特別価格」を強調して買わせるケース

※「設置しないと罰金が科せられます。」と嘘の話でおどし、「だからこそ、今お得な特別価格で買えるのです。今だけです。」と心理的な隙を突いてくる不適正な訪問販売です。

※罰金、罰則はありません。

■被害に遭わないために

- ①訪問相手の身分をしっかりと確認する。
- ②安易に家に入れない。
- ③不用意に契約しない。不審に思った時は、はっきりと断る。

ゼリー状着火剤の 落とし穴！

夏真っ盛りですね。海や山へ出かけてキャンプやバーベキューなどをする方も多いのではないでしょう。そのバーベキューなどをする時に「ゼリー状の着火剤」を使う方もおられると思います。この大変便利な着火剤ですが、思わぬ落とし穴があるので。

ライター等で着火剤に火を付けたところ、火の付いた着火剤が飛び散り、やけどをしたり、服に付いて燃え上がるなど、思わぬ事故に注意しましょう。



■着火剤を使う際の注意点

- ①一度火をつけたら、着火剤のつぎ足しは絶対しない。
 - ②着火剤は、キャップを開けた状態で放置しない。
 - ③着火剤の主成分であるメチルアルコールは毒性が強く、揮発したガスを吸い込むと中毒のおそれもありますので注意しましょう。
 - ④万一に備え、水バケツなど消火の準備は忘れずに！
- ※着火剤は危険物です。取扱いは十分注意しましょう。



ルールを守って 楽しい花火

夏の風物詩といえば「花火」です。一番身近なおもちゃ花火もルールを守らないと、ケガややけどの事故につながりかねません。

次の注意事項を守って楽しく遊びましょう。

- ①取扱説明書をよく読んで使います。
- ②花火を人や家に向けたり、燃えやすい物の近くで遊ばない。
- ③たくさんの花火に、一度に火をつけないようにしましょう。
- ④火が消えても 絶対にのぞかない。
- ⑤花火をほぐして遊ばない。
- ⑥風の強い日は花火はやめましょう。
- ⑦子ども達だけでなく大人と一緒に遊びましょう。
- ⑧水バケツは忘れずに！終わった花火などを入れて火災の原因を残さないようにしましょう。



火災・救急 119番

(問い合わせ先)

消防本部 77-3166
消防署 77-4118



農業講座

しまなみ農業だより レタス類夏まき栽培のポイント

レタスは食生活の欧米化とともにサラダや料理の添え物として食卓に定着してきました。レタスには、球になる結球性レタスと球にならないリーフレタスがあります。レタスの生育に適する温度は15℃～20℃と狭く、気温が高い時期はとう立ち（花）しやすく、気温が低くなると生育がとまります。今回はレタスの栽培方法について解説します。

■栽培作型

種の早やまきは、とう立ちの危険があり、収穫が12月を越えるようなら、ビニールのトンネルが必要となります。

表 レタス夏まき栽培の作型

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	主要品種
球レタス	○	△		■	■	×	×	×					早生系
		○	△		×	×	×	×					中生系
リーフレタス	○	△		■	■								サニーレタス (赤、青)
		○	△		■								

○種まき △定植 ■収穫 ×トンネル

■種まき

トロ箱に排水の良い土を入れ、6cm間隔に種を「すじまき」にします。種は小さいので、種がかくれるぐらいに薄く土をかけ、十分にかん水をして、新聞紙などで覆いをします。暑い時期に発芽させるために、種を布にくるみ、水を含ませ冷蔵庫の野菜室に2日間入れて「芽出し」をすると発芽しやすくなります。種が割れて芽が見え始めたらすぐに蒔きます。

■種まき後の管理

発芽したらすぐに覆いを取り、光に十分当てて、丈夫な苗にするため、本葉が出始めたら間引きをして苗の間隔をとります。苗は本葉が5枚まで育てます。

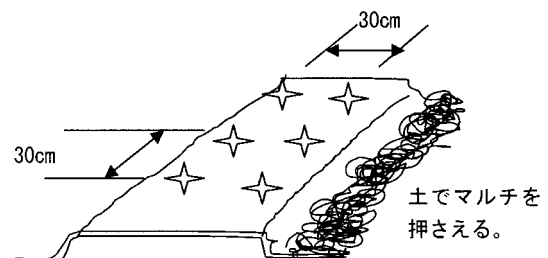
■畑の準備

レタスは酸性の土を嫌うため、植え付けの10日前に畑に苦土石灰を1a（10m×10m）当たり10kg混ぜておき、その数日後に化成肥料10kgを均一にまぜておきます。

■植え付け

葉に土が跳ね上がらないように植え付けるうねに黒ポリフィルムのマルチ（右図）をして、植え付け箇所に穴をあけて、株間30cm・条間30cmに苗を植えつけます。

12月以降に結球していない場合は、透明のビニールでトンネルをして保温します。



■収穫

球レタスは球の締まったものから、リーフレタスは株が大きく張ったものから収穫します。とり遅れは葉が硬くなるので、やや早どりを心がけます。

■病害虫防除

【ナメクジ、カタツムリ類】

結球した内側に入り込みます。発生が見られたらナメクジ駆除剤（ナメキール、ナメキットなど多種類あります）を株元にまきます。

【葉のふち枯れ（生理障害）】

石灰不足により発生します。植え付け前に石灰をすきこみ、乾燥でも吸収されないことがあります。

